

高瀬神社 社報

# 越中一宮



第59号

越中高瀬神社  
一宮

平成30年9月13日

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部スタジオ

## 越中一宮高瀬神社宮司 藤井秀嗣

ようやく猛暑が収まり、秋らしい風が吹き始めました。今夏は日本列島例外なく、大きな自然災害に遭遇しました。被災されました地域の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

神社では昔から「祈雨祭」や「祈晴祭」という祭りが行われてきました。今年のような少雨や長雨、大雨によって、田の稲や畑の草木の生育に大きな影響を及ぼす場合に斎行されました。

「祈晴祭」の祝詞例文には「雨雲の晴間なく降り続く霖は、月を越え日を重ねて小歇なく、其の水は河に漲り池に溢れ、堤を破り郷曲に湛へて、作りと作る物は、田と無く畑と無く、朝に夕に白波の底に打ち浸されて、雨腐れに腐れつつ、悉く傷へるが故に、此の顕世の災ひ、蒼生の悲しみを、皇神の御心に憫れと看行し、輔ひ給ひて、奇しき神の御稜威を以て、時日に移さず忽に、音響颯かに風吹き起し、立覆ひたる村雲を料戸の風の伊吹きの進びに、大空隈無く吹き滅び、照る日の光麗しく受けしめ坐して、災を蒙りし万物は、速に元の如く茂栄に榮えしめ給ひて、天の下の人草の弥遠長に

立榮ゆべく、守り恵み幸はへ給へと、恐み恐みも乞祈奉らくと白す（祝詞大成）」とあります。

このお祭りでお招きする神々は「高麗神」「暗麗神」「天水分神」「国水分神」「級津彦神」「級津姫神」「大雷神」など雨や水、風などをつかさどる神々です。祝詞の中にある「蒼生」は人間のことですが、災害による被害はもちろん、深く悲しんでいる人々の心も救っていただきたいと願い、また、文末には災害を被った全てのものを一刻も早く元の姿に復旧していただき、被災前の状況よりも更に繁栄できるようにとお願いしています。

暦の「二百十日」は、台風が来る頃といわれていますが、これからの季節、今までの以上の災害が起らないように、また、各地での災害復興が順調に進みますように、私たち神社職員も毎日の朝拝で祈念しています。

自然災害はいつ被災者になるかわかりません。他人事と思わずに自分の身に置き換えて、一日も早い復旧と、被災された方々へのご加護をみんなで祈りしましょう。

## 祭事暦

## 高瀬稲荷社例祭

六月三十日午前十時より当神社の末社「高瀬稲荷社」の例祭を斎行しました。この高瀬稲荷社は、京都伏見稲荷大社より勧請され、商売繁盛の神様として崇敬されています。

例祭当日は、講員約三十名が参列し、稲荷社に続いて当神社本殿にて「商売繁昌祈願祭」を斎行。日頃のご加護に感謝し、商売繁昌・杜運隆昌・職場の安全を祈りました。



## 人形感謝祭



古くなった人形に感謝を捧げ、最後のお別れをする第十八回「人形感謝祭」を七月十六日午前十時より斎行しました。

持ち寄られた人形は奉安所に納められ、それぞれ別れを惜しんでおられました。祭典には、約七十名が参列し、神職が人形を大麻・切麻にてお祓い致しました。

## 夏越の大祓

六月三十日午後三時、「夏越の大祓」を斎行しました。大祓は、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）が黄泉国の穢を禊祓（みそぎはらい）されたことを起源としており、現在では、自らの心身の穢、諸々の罪・過ちを祓い清める神事として全国のお社で行われております。当日、拝殿にて「大祓詞」を奏上の後、参列者が罪穢を移した「人形」を「茅舟」に収め、神社前を流れる大門川に祓い流しました。



## 茅の輪が出来るまで

大祓の際に、潜る茅の輪は、半年の内に犯した罪・穢を祓うとされています。いつも祭典に用いている茅の輪は、氏子の皆様によって奉製されています。

氏子 大和 彌壽夫氏  
氏子 岩倉 勲氏  
氏子 傍田 昭治氏  
氏子 大和 秀夫氏

- ①刈取り
- ②選別作業
- ③奉製作業開始
- ④円状に
- ⑤拝殿前に補設
- ⑥完成
- ⑦「私たちが作りました。」



※木原盛夫氏撮影

## 除熱祭



七月二十二日午前十時より炎天下の続く夏を乗り切り、農作物が無事に生育するように祈る「除熱祭」を斎行しました。祭典後、お祓いした御幣を献穀田（南砺市安室）に立て成長した稲を祓い清めました。また夕刻には、氏子有志による「熱おくり太鼓」が高瀬の地を練り歩きました。

七夕祭並  
技芸上達祈願祭

八月七日午後三時、七夕にあわせて織姫様のはた織り・裁縫上手にあやかっ、習い事が上達するように祈願する「七夕祭並 技芸上達祈願祭」が行われました。祭典では七夕飾りが祓い清められ、参列者は書き記した願い事が叶うよう、心を込めてお参りしていました。



## 国家隆昌祈願祭

八月五日午前九時より「国家隆昌祈願祭」を斎行しました。祭典後、神前にて百九十名の総代・役員が見守る中、神社世話役表彰が行われ、多年にわたり社務運営に寄与された方々に、根尾絃一神社総代会砺波支部長より感謝状と記念品が贈られました。

表彰に続いて、天皇陛下御即位三十年、明治維新百五十年を記念して、明治神宮国際神道文化研究所 主任研究員 打越孝明先生より「明治天皇と富山県」と題して講演頂きました。

## ○表彰者

（南砺市福野 鎮座 神明社 世話役）

井野 武氏

（砺波市矢木 鎮座 八咫壺神社 世話役）

清水 進氏

（砺波市矢木 鎮座 八咫壺神社 世話役）

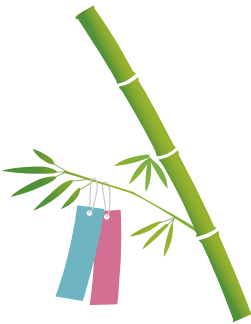
清水 岩夫氏

（砺波市庄川町青島 鎮座 戸隠神社 世話役）

梅崎 親美氏

（砺波市庄川町青島 鎮座 戸隠神社 世話役）

木村 繁夫氏



## 「浦安の舞」講習会

八月六日～九日にかけて富山県神社庁主催「浦安の舞」講習会が参集殿を会場に開催されました。当神社からは巫女四名が受講し、神社音楽協会講師 崎徑子先生のご指導をいただきました。今年の例祭では、受講した巫女による「浦安の舞（四人舞）」の奉納を予定しています。



指導者講習



初級者講習



神前奉納

## 初詣句会

七月十六日、当神社大国殿において、南砺市交流俳句会が開催されました。城端、福光、井波の各句会と福野糸瓜句会（梅島くにな会長）が交流し二十三名が参加しました。

御祓ひの古雛みな愁ひめく  
産土に木彫展や樟若葉  
人形の涼しき瞳何か言ふ  
汗光る供養人形抱く少女  
万緑の宮や人形供養さる  
一歩ずつ玉砂利を踏む涼しさよ  
蜘蛛の囀を払ひ一礼茶筌塚  
咲き満ちて帰化逞しき姫女苑  
炎天を来て口すすぐ神の水  
佛彫る音の涼しや御門前  
奥殿の灯り涼しや一の宮  
あじさいの花の遅速を樂しめる  
海の日の句縁に集ひ大国殿  
巫女達の無口涼しや朱の袴  
大暑下の大注連縄に威厳あり  
手水舎の濡つ水神石涼し  
大前に御祓心を持ちて待つ  
炎昼や砂利参道を一歩ずつ  
神苑は炎天にても微風あり  
涼しさや木の間に神の灯のゆるる  
さざれ石の芯まで届く暑さかな  
鞍付けし神馬見上ぐる雲の峰  
枝隠れなる一実梅椀ぎ忘れ

梅島くにな  
岩城 未知  
川井 城子  
名村 五月  
波多 昌子  
宇野 恭子  
富田みゆき  
長谷 登世  
森松 和子  
大浦 昌美  
澤田 敦子  
森田 桂子  
田上真知子  
今井 淳良  
中川 英堂  
有川 寛  
新山 武子  
窪田 悦子  
上古 真澄  
五十嵐千恵子  
高原 禮子  
有川 公子  
大藪真稚子

## 第十八回人形展

第一期一会

七月十四日(土) 十六日(月・祝)

「ハニーグレース」  
コンサート

▽監 梅 修  
崎 (親美)

▽銘木材提供  
嶋田工芸

▽写真提供  
荒井 恒雄

木彫や和紙、陶製の人形を手がける、県内外の作家十九名の創作人形が展示されたほか、草月流富山県支部「秀抱会(梅崎秀鈴会長)」による「いけばな」が会場に彩られました。また、本年は十五日にボーカルユニット「ハニーグレース」のコンサートが開催され、当地ゆかりの作家 岩倉政治氏の詩や、オリジナルソングなどを披露頂きました。

牛島 辰馬  
(砺波市)松本 昌子  
(南砺市)安達 陽子  
(砺波市)飛騨山静恵  
(富山市)川原 るみ  
(南砺市)宮長 由紀  
(射水市)笹波 美恵  
(高岡市)中林 雅代  
(富山市)熊野 幸子  
(砺波市)南部 祥雲  
(高岡市)横堀貴美子  
(射水市)中嶋外志男  
(南砺市)中山美代子  
(小矢部市)上野 勝廣  
(富山市)ちしろ  
(小矢部市)得能かちよ  
(小矢部市)三宅 真衣  
(富山市)笹川むもん  
(南砺市)辻 和志  
(砺波市)

草月流富山県支部「秀抱会」会長 梅崎秀鈴

『巫女さんが描く神様のお姿展』開催

七月二十一日～八月十六日にかけて、「巫女さんが描く神様のお姿展」を開催しました。以前より、美術に興味関心のある巫女を中心に、記紀神話に登場する神様のお姿等、思い思いに描いた約三十点の作品が展示されました。參觀された皆様は、個性的に描かれた作品を観覧されとともに、普段触れることの少ない神話の世界を楽しまれました。



大輪あさがお展開催

お盆前の八月十日から十二日の三日間にわたり、境内で南砺あさがお会（森田光正 会長）主催の「大輪あさがお展」を開催しました。

大輪朝顔は、花径の大きな朝顔のことで、明治後期以降栽培が盛んになり、現在でも広く愛されている園芸植物です。

会員の方々が持ち寄られた色とりどりの朝顔が境内を彩り、多くの方にご観覧いただきました。



## 高瀬の碑（小西和吉命）

小西和吉命は、富山県砺波郡高瀬村（現 南砺市高瀬）の出身で、農家の小西與十郎・ぬせの第四子として誕生しました。

小学校を卒業すると父を助けて農業に勤めましたが、明治十九年（一八八六）五月の海軍水兵徴募に志願します。当時の県内の水兵募集の状況は、体格不合格者が多く、郡内で再度募集がかけられた程でした。砺波郡内での募集では、志願者四十余名に対し、体格合格者は、二十余名だったそうです。

普段から農業に従事していたこともあって、海軍水兵に合格した小西和吉命は、浦賀屯営にて基礎訓練を積んだ後、明治二十年（一八八七）、比叡に乗艦し、明治二十一年（一八八八）横須賀鎮守府に入営しました。

その後、大和に乗艦し、四等水兵から三等水兵へと昇進されます。この大和は、有名な「戦艦大和」とは異なる機帆船で、初代大和とも言われています。

明治二十二年（一八八九）十一月十日、清国呉淞口（現 中華人民共和国上海市）に停泊していた大和の付属艇と、上海汽船会社の重慶号（英国船）が衝突する事件が発生しました。

事故当時、急流に流される危険があつた浮標（港湾などの水面に浮かべる標識）を護らせる為、水兵五名が、付属艇に乗り込み任務に当たっていました。そこを上流より下ってきた重慶号が衝突し、任務中の水兵は、河中に投げ出され、小西和吉三等水兵と横見二等水兵が落命する事態となりました。

この事件は、大和側には過失がなく、重慶号船長のジョン・ハッチソンも、扶助金を支払うことを申し出るとともに、謝罪状が後日送られることになりました。

後年、落命された二名を悼んで同僚により、明治二十三年（一八九〇）、横須賀龍本寺に慰霊碑が建立され、翌年十一月

には、出身地高瀬に小西和吉命の石碑が建立されました。

（現 世帯主小西政寛氏）

小西君和吉碑

海軍三等水兵小西君和吉之死清国呉淞口也官特賜其父以年金二十円且給清廷所遺庇族資二百兩而同艦諸子亦為建碑於相州横須賀其於死者可謂恩榮熏煙矣今茲辛卯鄉人勤石謀不朽属文於予予与君同邑里誼不可辞君越中砺波郡高瀬邑人家世業農父與十郎母吉田氏兄弟五人君其第四子也年十三卒小学業助父勤于畝畝明治十九年五月官徵募海軍水兵君慨然応之以為承色之任伯氏在為我曹居家無益不若委身軍振緩急報国也乃從戊浦賀屯營翌年移比叡艦又入横須賀鎮守府二十一年

走輕軻而進会有清国汽船号重慶者順流而下如以我軻不為意者我軻亦不敢避遂為其所觸破碎淪溺以終矣二十二年十一月十日也享年二十有二婦葬長崎招魂祠側君資性忠厚平居未嘗与人短長其兵在海軍銳意奉職數年之久猶一日也銘曰

往蔭之死 男兒所  
死而当義 古人可儔  
維砺之地 山峙水  
貞珉勤銘 巍然千秋  
明治二十四季十一月建  
砺波武部 and 正撰  
富山小西有英書  
世話方 若連中

※正字等は、新字を用いて修正し、判読不明の箇所は■にて記載した。

転大和艦為四  
等水兵尋進三  
等水兵無幾大  
和艦以事航清  
国其在呉淞口  
也一日誤斷鐵  
鎖潮流悍急勢  
如建瓴艦長恐  
失浮標遽令水  
兵五人警護之  
君亦当其選■



小西君和吉碑

## 団体参拝日誌抄 (平成三十年四月～八月)

平成三十年  
四月

六日 南砺市交通安全協会



五月

二十日 北日本新聞社

バスツアー

六月

二十日 砺波高等学校野球部

二十六日 井波小学校校外学習

三十日 タカハタ工業株式会社

七月

二日 中越パッケージ 株式会社

川田工業株式会社

建築業労働災害防止

協会富山支部砺波分会

富山県労働基準協会

砺波支部

三日 滋賀県神社庁甲賀支部

七日 松本建設株式会社

八日 新潟県神社庁

西蒲原支部

九日 福岡高等学校

二十日 大瀧熊野神社総代会

八月

四日 全日本愛國者團體會議

バスツアー

日進工業

「初の家」映画撮影

成功安全祈願

## 団体参拝のご案内

古来より様々なご縁を結ぶ福の神・結びの神である大國主命（大國様）をおまつりする当神社では、会社の参拝（安全祈願・創業記念日）、必勝祈願、同窓会記念参拝等の各種団体の祈願を受け付けております。お問い合わせは社務所へお願いいたします。

## 宝物殿のご案内

古代の石器や加賀藩主前田家奉納品など、当神社縁の宝物を展示しています。ご参拝の際は、どうぞご覧下さい。

### 開館日時

事前に社務所へお申し込み下さい。

拝観料 無料



## 「全国一の宮めぐり」をしてみませんか？

「一の宮」は全国に約一〇〇社あります。平安時代、各地域で古くから崇敬を集め、神位も高く、由緒正しい神社が「一の宮」として定められました。

「御朱印」はこのような神社を参拝し、各神社にお祀りされている大神様の御神徳をいただく為のものです。時間をかけて自分流に全国の「一の宮」を巡ってみてはいかがでしょうか。

御朱印帳（大）

三三〇〇円

御朱印帳（小）

一三〇〇円

ガイドブック

一〇〇〇円

新ガイドブック

一〇〇〇円

巾着袋

一五〇〇円

※雲立涌柄（桃色）と青海波柄（青色）の二種類をご用意しています。

ご案内

観月祭

本年も月を愛で、収穫に感謝する「観月祭」を肅行します。祭典後、「南砺平高等学校 郷土芸能部」の皆様による越中五箇山民謡（こきりこ、麦屋節ほか）の奉納行事があります。参集殿テラスでは、ご神酒・月見団子・湯茶を用意しておりますので、是非、ご参列下さい。

〔日時〕

平成三十年

九月二十四日（月）

観月祭 午後五時～

奉納行事 午後六時～

（入場無料）



戌の日（安産祈願）



平成30年

9月3・15・27日  
10月9・21日  
11月2・14・26日  
12月8・20日

平成31年

1月1・13・25日  
2月6・18日  
3月2・14・26日



腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。



七五三詣（数え年）



本年は次の通りです。

- 7歳（女子） 平成24年生
- 5歳（男子） 平成26年生
- 3歳（男女） 平成28年生

※10月1日より11月末日まで、毎日午前9時より午後4時30分まで随時受け付けております。

※祭典・結婚式等の行事と重なる場合がございますので、各種社務所までお問い合わせ下さい。



新年初祈禱のご案内

～一年の計は元旦にあり～

福の神・結びの神様であります大国主命（大国様）をおまつりする高瀬神社では、全ての災厄を祓い退け、心に平安をもたらすご神徳により、ご家族皆様の安泰と繁栄、また諸々の願いが成就するよう祈る「新年初祈禱」を肅行しております。

新しい年が事故・災難や病氣・怪我無く、家族の「絆」がより強く結ばれ、幸せに過せるよう、年頭にあたりご家族お揃いでご祈禱をお受け下さい。

・内容 家内安全（開運招福）諸縁結び  
商売繁昌（事業繁栄）など  
願意はホームページをご覧ください

・期間 節分の頃までにご参拝ください  
午前八時三十分から午後四時三十分まで  
（元旦は午前零時から午後六時頃まで）

・受付 ご祈禱入口からお入り下さい

・祈禱料 一祈願五千元より  
（ご志納願います）

ご祈禱をお受けになり、  
一年間清々しくお過ごし下さい。

― まず大国様に初詣 ―



## 平成三十一年「初詣献灯」の御案内

当神社では「初詣献灯」を実施しております。

本行事は、初詣期間中に正参道両側に「提灯」を掲げ、来る新年が更なる輝かしい一年となるよう、尚一層の御神徳を授けて戴くことを願ひ奉納するものです。

一、「初詣献灯」は正月七日まで、境内等参拝者道筋に献灯いたします。

一、「初詣献灯」は、それぞれ正面に希望の芳名（会社・氏名等）を記入いたします。

一、献灯者の家内安全・商売繁盛の祈願祭を奉仕いたします。

一、献灯初穂料は、一基につき 金壺萬円御志納願います。

一、申込締切 十一月三十日までにお申込下さい。

※記載芳名 例（約八文字）

一、会社

南砺市 (株)高瀬  
高瀬産業株式会社

二、個人

高瀬 高瀬 太郎  
高瀬 太郎

## 平成31年 厄年・身祝一覧

〔厄年〕 数え年

|   | 前 厄  |           | 本 厄  |           | 後 厄  |           |
|---|------|-----------|------|-----------|------|-----------|
| 男 | 24歳  | 平成 8 年(子) | 25歳  | 平成 7 年(亥) | 26歳  | 平成 6 年(戌) |
|   | 41歳  | 昭和54年(未)  | 42歳  | 昭和53年(午)  | 43歳  | 昭和52年(巳)  |
|   | *60歳 | 昭和35年(子)  | *61歳 | 昭和34年(亥)  | *62歳 | 昭和33年(戌)  |
| 女 | 18歳  | 平成14年(午)  | 19歳  | 平成13年(巳)  | 20歳  | 平成12年(辰)  |
|   | 32歳  | 昭和63年(辰)  | 33歳  | 昭和62年(卯)  | 34歳  | 昭和61年(寅)  |
|   | *36歳 | 昭和59年(子)  | *37歳 | 昭和58年(亥)  | *38歳 | 昭和57年(戌)  |

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。

※\*…この年を厄とする地域もあります。

〔身祝〕 数え年

|    | 年齢  | 生まれ年      |
|----|-----|-----------|
| 還暦 | 61歳 | 昭和34年(亥)  |
| 古希 | 70歳 | 昭和25年(寅)  |
| 喜寿 | 77歳 | 昭和18年(未)  |
| 傘寿 | 80歳 | 昭和15年(辰)  |
| 米寿 | 88歳 | 昭和 7 年(申) |
| 卒寿 | 90歳 | 昭和 5 年(午) |
| 白寿 | 99歳 | 大正10年(酉)  |

※男女ともに祝います。

## 奉納

○「未来」

※第三十四回 日展 文部科学大臣賞

彫刻家

辻 志郎 殿



○著書『帝国海軍の航跡』

大阪観光大学国際交流学部

専任講師

久野 潤 殿

○楽曲「OKUNINUSHI」

歌手

児玉 貴範 殿

各種お問い合わせにつきましては、  
社務所へご連絡下さい。

(0763) 821-0931

社報バックナンバー

当神社ホームページで  
ご覧頂けます。

〔表紙写真〕

宝物殿

## 特別な方々と特別な場所で特別な神前結婚式



只今  
春・夏の婚礼  
ご予約  
受付中

越中一宮 高瀬神社の神前結婚式は、ご親族だけではなく、ご友人にもご参列いただき、「伝統」と「新しいかたち」の神前結婚式です。縁結び神様のおはからい（御神縁）によって、新郎新婦とご参列の皆様がひとつに結ばれます。

### 縁結びの神様のもとで幸せのお手伝いをしてみませんか

やさしいあなたの力を必要としています



土・日・祝日の空いた曜日だけ! 事前にシフトを決めて働きましょう!!  
未経験者歓迎! 丁寧に教えます!

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 仕事内容 | 結婚式・披露宴でのサービス業をご担当いただきます      |
| 勤務時間 | 土・日・祝日/9:00~18:00の間（披露宴時間による） |
| 勤務地  | 南砺市高瀬291 高瀬神社内                |
| 給与   | 時給1,000円以上 研修30hは時給900円       |
| 待遇   | 制服貸与 食事手当500円                 |

月単位のシフト制なのであなたの都合に合わせて働けます

高瀬神社 プライダル事業部  
TEL (0763) 82-1131 中井 面接随意・先ずはお電話を

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291  
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索